

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行



新型コロナ感染症「第7波」からいのちを守る対策

根本みはる市議が行った9月議会的一般質問(その2)の一部を紹介します。

新型コロナウイルス感染症の状況と検査・診療について

新型コロナウイルス感染症は、感染力の強いB.A.5系統等の変異株への置き換わりの影響もあり、新規陽性者は高止まりで感染拡大が続く状況です。8月4日の愛知県知事の「B.A.5対策強化宣言」は9月末までさらに1カ月間延長しました。

B.A.5対策強化宣言後、豊田



発熱などの症状のある人の受け入れ医療機関の数、休日や夜間の検査・診療体制は。

A 症状がある方の新型コロナウイルス感染症の検査・診療に対応しているのは、103の医療機関。

休日や夜間は「豊田厚生病院」「トヨタ記念病院」「豊田地域医療センター」「足助病院」「豊田加茂医師会立休日救急内科診療所」「豊田市南部休日救急内科診療所」

・お盆休み中に、診療・検査医療機関のひっ迫を考慮し、休日救急内科診療2か所の臨時的な開設を調整し、検査・診療体制を確保した。感染動向に合わせ、豊田加茂医師会及び関係医療機関と連携しながら対応する。

高齢者・障がい者施設職員のスクリーニング検査の実施状況は。

A 令和4年8月の実施結果・8月1日に、スクリーニング検査の対象となる474施設に対し、申込手順等を通知した。検査の実施施設は、103施設。検査回数は7,696回

実施施設は、対象の474施設の3分の1以下。集団感染を防ぐために、市として、支援の強化が必要です。また、8月末、政府が陽性者の

全数把握の方針について変更を打出し、医療現場からは「把握していない陽性者が急変した場合の対策などが示されていない。」「療養証明ができなくなれば発熱外来に問い合わせが殺到することになる」と、危機感を示しています。



学校等での抗原検査の現状 児童生徒へのサポート

こども園、放課後児童クラブにおける職員の抗原検査は。

A 公立こども園のほか、私立園や認定こども園などでは、濃厚接触者となった職員を対象に、業務に従事できるかどうかを判断するため、抗原検査を実施している。

放課後児童クラブでは、委託事業者の判断により、クラブや家庭で陽性者が発生した支援員を対象に抗原検査を実施している。学校における職員の抗原検査の現状は。

A 本人が濃厚接触者となり、本人の希望で、抗原検査キットを市教育委員会から配付して検査できるようにしているが、現在のところ、その実績は無い。

9月になって学校が始まり、コロナの感染への不安があったり、長い夏休みが終わって様々な思いを抱えている児童生徒へのサポートは。

A 8月末に教職員に対して、夏休み明けの児童生徒への対応の在り方について文書で周知し、児童生徒の様子を丁寧に把握できるようにした。学校では、児童生徒に対してアンケートや面談を行い、心配事や悩みなどの把握に努めている。また、サポートが必要な児童生徒には、教職員間で情報共有し、スクールカウンセラーへの相談ができるようにするなどの体制を整えている。

こども園、放課後児童クラブ、学校において、集団の中で感染者が出た場合の職員への検査が必要です。

根本市議は、新型コロナウイルスの対策は医療・検査・保健所等の体制強化に真剣にとりくみ、市民のいのちを守るために、危機感をもって対策を行うことを強く求めました。

福祉・医療・教育の前進・強化を 住みよき豊田を創る会が予算要望書を提出

住みよき豊田を創る会は9月中旬、太田稔彦市長に2023年度予算要望書を提出しました。市民部が要望書を受け取り、応対しました。

会を構成する各団体からの重点的要望をまとめて、要望書の冒頭で「市政における福祉・医療・教育や暮らし充実のために、各団体が取り組んでいます。重点的な要望について、各部ごとにまとめました。新型コロナウイルス危機を克服する取り組みが引き続き、来年度も重要であることに鑑み、関係する分野におけ

る対策が必要であると考えています。とりわけ、今回、新型コロナウイルス禍のもとで指摘したいのは、隣の中核市岡崎市と比べて今年度一般会計予算で52億2千万円多く（豊田市は42億2千万円、岡崎市は38億2千万円、岡崎市38億2千万円以上多い）にも関わらず、医療・福祉・教育の民生分野で見るべき前進も無い」と指摘し、「前進が強く求められています。」としています。



予算要望書を手渡す共同代表の田中氏(左)と本多氏

お知らせ

自治体キャラバン事前学習会

9月27日(火)午後1時～

崇化館交流館 会議室

講師：愛知県社保協より派遣していただきます

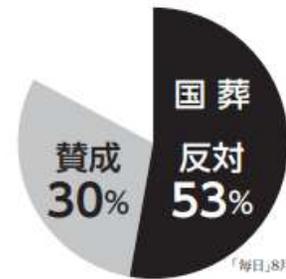
豊田・みよし社保協で行う自治体キャラバンの事前学習会です。医療・介護・年金・子育ての制度について、市へ要望を持って行きます。広い会場を用意して、みなさんの参加をお待ちしています。

自治体キャラバン

10月18日(火) 午前10時～11時30分

主催：豊田・みよし社会保障推進協議会

憲法違反の「国葬」 キッパリ中止に!



岸田政権による安倍元首相の「国葬」強行に反対する世論が日をおごとに高まっています。国民にたいして、なにひとつまともな説明ができないのは、「国葬」が明白に憲法に違反しているからです。

日本共産党

「儀式だけで」「税金2億5千万円」総額も示さず、国会議決もなく血税投入
法的根拠のない「国葬」を「国議決定」で強行することは「法の支配」を「人の支配」に代える暴挙です。その「儀式」に2.5億円もの税金を支出。警備費などを入れれば、もっと膨らみます。ところが、総額いくらかかるか国民に隠したまま、強行しようとしています。物価高騰とコロナで国民生活が痛めつ

首相が言う「敬意と弔意を国民全体であらわす」とは結局、「国民全体」に弔意を強要することです。実際、府省庁では「国葬」当日の弔旗掲揚、葬儀中の黙とうが強要されようとしています。憲法19条「思想及び良心の自由」をふみにじるものであり、絶対許せません。

「法の下の平等」「思想・良心の自由」
「憲法を踏みこじることには許されない」
なぜ、「国葬」なのか。「在任期間最長」と言うだけで、首相はまともな説明ができません。時の内閣の打算で特定の個人を特別扱いすることは、憲法14条「法の下の平等」に反します。

「国政私物化の免罪許されない」スタンディング



10月3日(月)
午後1時～30分
豊田市駅西側デッキ

主催：豊田革新懇

「安倍政治」への「敬意」の表明を、ばく大な税金を使って強要することなど許されません。
日本共産党は「国葬」強行に反対です。
安保健法の強行、「森友・加計・桜」統一協会との癒着…

けられている中で、国会での説明も議決もなしに、国民の血税を使うことなどまともな政府のやることではありません。